

「**情報活用能力育成**」校内研修をしました

①目的 来年度のテーマ「ICT機器を活用した「聴いて・考えて・つなげる」授業作りを実践する」のために、まず、教職員による情報活用能力育成に向けて、学校として取り組むべきことを共有することによって、日頃の授業実践に活かしていく

②日時 5月16日(火) 45×6(日直清掃)  
 今年度の時間割の場合 火1～火6  
 講演開始時間 15:20～16:55

③対象 全教員

④場所 多目的室

⑤講師紹介



和歌山大学教職大学院 豊田充崇 教授  
 専門とする研究分野：教育工学・情報教育（プログラミング教育、情報モラル教育を含む）・ICT活用授業実践研究・教師教育等  
 和歌山大学教育学部卒・同大学院教育学研究科修了。1997年4月より5年間公立中学校教諭（情報教育に関する実践研究を行う）。2002年和歌山大学教育学部講師採用。2014年和歌山大学教職大学院教授。文部科学省

皆さんの振り返りより

1. 今日講演を聞いて、『授業で』活かしていこう・挑戦してみようと思うことについて、お書きください。

- ・不登校生徒に「反転学習」とオンライン学習による支援ができればと思いました。
- ・情報活用能力についてはどのへんからまず始めていくか先生方の意見を聴いて始めて行ければと思いました。
- ・児童の‘創造性’をupできるようなタブレット活用、授業づくり。
- ・実践的な反転授業の考案。
- ・学習環境の見直し
- ・操作スキルの育成
- ・学習の個性化ってどうするんだろう。
- ・育成段階を経て活用段階に移転するためのカリキュラム作り
- ・道徳の授業しか実際に授業することがないので道徳の教材研究の際にパワポ等を使いながら教材研究していけたらなと思った。
- ・「伝える」ということについては大変興味を持ってました。写真や動画をとることは生徒にとってとても楽しめるものだと思います。ですので、「外に発信していく」ということに時間をとってできればなと思います。
- ・いろいろな広がりがあることを感じた。写真を撮ってそれを撮った意図を明確にすることは潜在的な感情を文字化、明確化していけて、やってみたいと思った。
- ・情報活用能力を定着させるために、自分たちの情報をまとめる場面で今日の内容を活かしていきたいと思います。
- ・単元の学習活動計画や学びの履歴を残す「ヒストリーシート」の活用
- ・中学校1分間で50文字打てるようにしていくために、発表ノートを使って、単元か毎週1回振り返りの時間をとり、学んだことをタイピングさせていき、生徒達のタイピングスキルを向上していこうと考えている
- ・反転学習、なかなか難しいなという印象を持っていたのですが、今日の「NHK for School」の事例で中学校の授業でも実践可能かなと思いました。今、主体的な学習の評価が問われている中で反転学習も評価につなげられるかなと思った。
- ・体育のレポートで「引用元、出典を書きなさい」とは明記していますが、徹底はできていません。きちんとかいている人もいればそうでない人も、....。発表させたりはしませんが、何が正しい情報で、信頼できる情報なのかを見極めさせるために、常日頃から意識させないといけないと思いました。
- ・iPadを情報発信するために用いると生徒が自分たちのアイデアをクラスメートにまたは学校内で伝える授業タイピング、情報収集などの基本技術の習得も取り入れていきたい。

・ICT を使って発表や意見交流をやりと個別に指導ができるのでは発表も声に出すのが苦手な生徒もできる方法があるのでは、……。

・個別最適な学び

協働的な学び どちらも実現できるような学習活動や課題を見つける

表現・発信のツールとして iPad を使う。

SNS の使い方・有効性を知ることにつながる。

・学校は創作的活動の教習所という言葉が印象的でした。まずは失敗を恐れず、いろいろ試してみたいともいました。

・ICT を積極的に使っていきたい

調べ学習、プレゼンテーション、教室に分かりやすい映像を使用

大型テレビで自分の動きや技を確認する

・生徒主体のパソコン学習

・調べ学習は実施予定なので、出典を明記したり、引用元を明らかにすることはしつこく伝えていこうと思います。

・校外学習で作ったりするパワポのイラストも生徒は自由にとってくるので注意するようにしたいです。

・文の構成などは国語で養える部分だと思うのでそれをタブレットのときにも使えるような指示や声掛けを考えていきたいです。

・いくら授業でタブレットを使っても日常的に持って帰ってもないし、現在は卒業時には中身を消却してしまうし、手元に残らないのが残念と思いました。

## 2. 2学期の豊田先生の講演で、聞きたいことや本日の研修の感想をお書き下さい。

授業で使える学習アプリを紹介していただけるとうれしい。次の研修では、どんなアプリが効果的かの話を聞きたい。

・今日は身近な課題から学校における情報活用能力の活用まで有意義なお話をありがとうございました。いつも職員室の中では先生方が「使いたいけど使い方が・・・」という話を耳にします。

豊田先生の関わってきた中でおも知の事例をたくさんご紹介していただければおおくの先生の目が開かれると思います。ありがとうございました。

・タブレットを情報発信のツールとして使った学校の様々な事例を知ることができてよかった。情報モラルやデジタルシチズンシップは自分たちで情報発信することで観につくことが分かりました。

・新しく映像を使った宿題など、今までにない方法があって面白かった。

色々な方法を知れたが授業で深めるのは自分。まずは自由に使えるようになって深めていきたい。

・小・中の頃からICTに触れておくと、苦手意識が無く使えるようになるなと思いました。興味、好奇心がある時にいろいろな知識や使用方法を習得しておけば将来につながると思いました。

・他校の実践例が聞けて良かったです。係の先生、お疲れ様です。

・著作権や To Share の授業の方向性は間違っていなかったなと思いました。

・15 中は操作スキルの面でもまだまだ伸びると思うので、活用能力もふまえつつもっと有効的な総合の時間にできたら...と思いました。でもきっと総合だけでなく、普段の授業の中で活用して行って、少しずつ養われていくものなのだろうと思いました。

・(国語的なところかもしれませんが...) 手で書いて字を認識し、覚えるところはタイピングやタブレットの活用能力の向上のバランス(?)は難しいように感じました。

・学習の個性化をした際に、評価はどのようにすればよいのでしょうか。イメージがつかないので教えていた

・大変刺激を受けました。もう少し若ければいろいろな事試して実践したかったです。

・ぜひ寺内小学校にお越しいただきたい。

・GIGA スクールとコロナが重なったことで本来の目的があまりよく分かっていなかったのかなと思った。ICT で創造性を養いことを今後考えていこうと思った。

・中学生がインスタグラムをやってわが町を発信していく責を負うことはおもしろいし、十五中生としてやれるアイデアはないかなと考えた。

・教科を越えて、情報活用能力を育成するしくみなどを教えてほしいです。なお、各授業の時数を削ることが困難なので、どの教科もこの部分はこの教科の時間でとかカリキュラムをどう実践しているのか、方法を教えてください。

・情報活用能力を育成することと発揮させることは異なることを学んだ。教科で活用できるカリキュラムを系統だてて今後考えていきたい。